

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度目標値	570 億円 (H28)	現状値	508.1 億円 (H27) (2018.10 公表)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p>【政策1 成長産業としての農業の確立】については、農地バンクにおいて貸付希望地の確認のために地図化を進めた。果樹生産を確保するため、果樹産地協議会設立に向けた調査及び生産者・関係機関と協議を行った。</p> <p>道の駅においては、いちごの売上や陶器市期間他、全般において順調に売り上げを伸ばしている。今年度の来場者数 21.5 万人(昨年 19.2 万人)、税抜売上げ1億 3,600 万円(1 億 1,100 万円)で、昨年度を上回っている</p> <p>【政策 2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金、1 件を認定した。制度の改正を行ったが、空き店舗利用はなかった。</p> <p>ブランド商品認定制度については、制度の検討を行い、地域特産品認証審査委員会設置要綱を制定した。</p> <p>益子焼使おう条例のPRでは、「ましこdeカフェ」イベントにおいて、コーヒーを益子焼のコーヒーカップやマグカップで飲んでもらい、益子焼で飲む味わいを感じていただいた。国際工芸交流事業では、公募作家 2 名が来館滞在し、作陶や講演会を開催した(1名は8月まで滞在中)。</p> <p>雇用では、有効求人倍率の今年平均が 0.86(昨年 0.7)と伸びている。今年度の合同就職面接会は益子、市貝、芳賀の 3 町で実施することが決定した。求職者セミナー実施内容の決定、パソコン講習会を開催した。</p> <p>【政策3 観光の基幹産業化】については、ディスティネーションキャンペーンにおいて、駅からいちご狩りツアー(200 人)、DL&SL(232 人)、美術館めぐり、ましこdeカフェ(3,000 人)、ポタリングガイドツアー(20 人×3 回)などを開催し誘客を図った。観光戦略会議設置に向けた連携及び理解を深めるための講演会、意見交換会を開催した。旧南間ホテルの第 3 期工事設計及び運営者募集内容の検討を進めた。土祭は実行委員会、地区委員会等により企画内容の検討を進めた。</p>	<p>【政策1】農地バンクにおいては、貸付希望土地の確認を実施し、規模拡大希望者などの借手とのマッチングを開始する。果樹産地協議会を設立し、果樹産地として担い手の確保、園地の整備・集約化を図り、品種構成の検討、計画販売を進める。里西・星の宮地区の畑総事業、里西地区の法人化に向けた説明会を実施し、事業推進を図る。</p> <p>道の駅では、6、7 月の閑散期の対策、8 月のお盆・ひまわり祭及び 9 月の土祭などイベント開催に伴う繁忙期の品揃えの充実を図り顧客の獲得に努めるとともに、新商品の開発、加工施設の検討を進める。</p> <p>【政策 2】起業支援補助金の制度PRに努め、申請件数の増加を図る。町内全域で利用可能なポイントカード実現のための、研究・研修を実施する。</p> <p>ブランド商品認定については、地域特産品認証審査委員会を開催し、募集要項を決定し、募集を開始する。</p> <p>益子焼のPRについてはイベントなどにおいて使ってもらう機会を積極的に作っていく。使おう条例推進のため、益子焼を使ったフォトコンテストを開催し、作品の募集を行う。益子焼人材育成のためのスキルアップセミナーを開催する。交流事業では、次年度の公募作家を募集し決定する。求職者セミナーの参加者の募集、開催を進める。</p> <p>【政策 3】観光戦略会議設置に向け、関係機関・団体と検討を進める。土祭は 9 月開催に向けて、ガイドブック作成、企画詳細の検討、会場の整備など準備を進めるとともに、広報PRを充実させ周知を図り、来場者に満足してもらえる運営を行う。旧南間ホテルの改修工事の発注、運営者の募集・決定を進める。</p>

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度目標値	570 億円 (H28)	現状値	508.1 億円 (H27) (2018.10 公表)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2四半期	<p>【政策1 成長産業としての農業の確立】については、益子町果樹産地協議会を設立し、担い手の確保、園地の整備等を進めるため果樹産地構造改革計画を策定した。また、施設園芸推進の新規作物や新規生産者の掘り起こし、経営拡大を図るため、個別訪問を行うとともに、生産現場の農事組合と流通・販路を持つ法人とのマッチングを行った。就農者確保のため、都内において就農セミナーを開催した。</p> <p>道の駅においては、ひまわり祭・お盆フェア・土祭などにより、順調に売り上げが向上し、今年度の来場者数 39.5 万人(昨年 34.5 万人)、税抜売上げ 2億 6,500 万円(2億 1,800 万円)だった。高速バスの貨客混載事業を開始し、東京大手町への農産物等の直送による新規市場の開拓を図った。</p> <p>【政策 2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、後継者の育成・指導を行う、益子焼人材確保・後継者育成セミナー(14 回)を開始した。ブランド商品認定に向けて、益子町地域特産品認証審査委員会を設置、第 1 回会議を開催し、益子ブランドの在り方について検討を行った。益子焼の利用促進のため、Instagram による益子焼を使おうフォトコンテストの募集を開始した。国際工芸交流事業では、招聘作家のペニー・シン普森氏が来館、滞在中(9/18～11/2)。雇用では、今年の平均有効求人倍率は 0.77(昨年 0.70)、求職者・企業者向けセミナーを開始するとともに、おもてなし英会話セミナーを開催した。</p> <p>【政策3 観光の基幹産業化】については、観光戦略会議設置に向け、気仙沼市DMOの視察、アドバイザーを交えた勉強会を実施した。旧南間ホテル改修工事に向けて、設計を進めるとともに運営者の募集、1 次選考を実施、名称の募集を開始した。土祭を開催(9/15～9/30)、アート展示や 3 地区委員会による地域プロジェクト等を実施した。観光客や宿泊者を含め、益子の夜の楽しみ、夜の魅力、営業店舗等を紹介する、益子の夜マップを作製した。</p>	<p>【政策1】新規就農者 1 名の支援審査会を予定しており、支援体制を整備するとともに、既就農者のフォローアップを実施し、事業の指導、経営の安定化を支援する。施設園芸の推進を図るため、個別訪問の継続、先進事例視察研究を行い、新規作物の掘り起こしを進める。担い手の確保、事業の継承を図るための制度設計を進める。道の駅においては、コスモス祭・陶器市・2 周年祭や年末に向けた集客が見込まれるので、安定した品揃えを図る。また、首都圏イベントへの参加、高速バス利用による販路拡大のための仕組みづくりを進める。</p> <p>【政策 2】起業支援補助金の申請が滞っているので、制度PR、起業相談をさらに進め、空き店舗の利用促進も併せて図る。町内事業者に対し、来年の消費税増税に伴う消費税率軽減税率導入について周知を図り、制度改正への対策を講じるためのセミナーを商工会と連携し開催する。ブランド商品認定は、委員の意見等をまとめ制度の確立を進める。益子焼新商品開発においては、商品発表会に向けて商品の作成、カタログの作成を進め、発表会内容を決める。フォトコンテストは、PRに努め、多くの参加を促し、審査会を実施する。国際交流事業は招聘作家による、ギャラリートーク、制作実演等を実施する。合同就職説明会の準備を進めるとともに、求職者向けセミナーの開催により就業支援を続ける。</p> <p>【政策 3】観光戦略会議は進めるべき方向性、内容の検討を十分に行い、組織づくりを進める。旧南間ホテル改修事業は、3 期工事を発注し、工事を進めるとともに、ギャラリー展示、備品等の関連工事等を実施し、運営者の選定を進める。益子宣伝部長の委嘱(西谷優希、道の駅 2 周年)、益子大使によるPR活動(宗次郎コンサート、川口、仁村町駅伝参加)を実施する。</p>

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度目標値	570 億円 (H28)	現状値	508.1 億円 (H27) (2018.10 公表)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	<p>【政策1 成長産業としての農業の確立】については、次世代人材投資事業審査会を開催し、新規就農者 1 名の支援を決定するとともに、前年度新規就農者に対するフォローアップを実施した。施設園芸推進及び小泉・本沼地区の営農作物選定に向けた研究会・視察研修会を実施した。地域農業農村の将来像を描く地域営農ビジョンを作成のため、モデル自治会の大平自治会で懇談会を開催した。星の宮地区で土地改良事業説明会、里西地区の営農集落の法人化に向けた研修会を開催した。</p> <p>道の駅においては、コスモス祭・2周年祭・陶器市等、順調に売り上げが向上し、今年度の来場者 58.1 万人(昨年 50.8 万人)、税抜売上げ 4 億 500 万円(3 億 3,600 万円)だった。</p> <p>【政策 2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、起業支援補助金審査会を開催し(11/26) 1 件を決定、今年度スタートした空き店舗活用による事業だった。31年10月実施予定の消費税率改正に伴い、商工会と連携し国税庁及び中小企業庁職員による消費税軽減税率制度と対策補助金のセミナーを開催、31名の参加があった。後継者不在により事業の継承がされない事例に対応するために、事業継承セミナーを開催、11名の参加があった。</p> <p>益子焼使おうフォトコンテストには、671件の応募があり、入賞者を選定した。これによりインスタグラムフォロワーが 200 名から 700 名に増加した。</p> <p>【政策3 観光の基幹産業化】については、10/7 土祭の後土祭、オカリナプロジェクト宗次郎コンサートを実施し全日程を終了した。旧南間ホテル改修工事を発注、運営者については選考の結果、該当者がなかったため再募集を開始した。観光戦略アドバイザー山田桂一郎氏と意見交換。益子宣伝部長に栃木SC西谷優希氏を委嘱した。文化財をめぐる多言語表記看板設置に向けた、外国人留学生サイクリングモニターツアーを実施した。</p>	<p>【政策1】小泉・本沼地区の土地改良事業については、工事着手に向けて事業内容の協議を進めるとともに、営農作物選定のための研究・研修を引き続き進める。里西・星の宮地区の土地改良事業においては、推進協議会の年度内設置に向けて協議を進める。果樹産地化事業においては、樹園地継承に向けた取り組みを進めるため、具体的な事業の検討を図る。</p> <p>道の駅においては、食と農による町内総生産の向上、雇用創出を目指して新たな加工施設・事業の検討を進める。</p> <p>【政策 2】商店の活性化では新たなポイントカード導入に向けて、各社の導入費・運営費・内容の比較検討を行い、準備を進める。</p> <p>益子焼では、益子焼新商品 BOTE&SUTTO 発表会(1/25)に向けて、準備・連絡調整を進める。発表後においては商品の周知PRを進め、販売体制を整えブランドを確立する。益子焼使おうフォトコンテスト入賞作品を活用し、益子焼使おう条例のポスター等を作成し、さらなる周知を図る。</p> <p>就労支援においては芳賀町・市貝町との 3 町による合同就職面接会の開催(2/13)であるため、関係機関との連携により周知を図り、多くの求職者に参加してもらえるようPRに努める。</p> <p>【政策 3】観光戦略は、地域ポイントカード事業と連携し、戦略会議組織化の検討会を実施する。旧南間ホテルは、改修工事のほか関連事業を遅滞なく進めるとともに、オープンに向けて運営の準備も進める。また運営者の募集PRに努める。4 月からのアフターDCに向けた事業の検討と準備を進める。土祭は報告書をまとめ事業総括を行い、次回開催について検討する。</p> <p>インバウンドでは、モニターツアーの結果をまとめ看板設置に向けた検討を行う。</p>

基本目標	風土に根ざした産業をつくる				
成果指標	町内総生産	本年度目標値	570 億円 (H28)	現状値	508.1 億円 (H27) (2018.10 公表)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
<p>本年度総括 (第4四半期分も含む)</p>	<p>【政策1 成長産業としての農業の確立】については、土地改良事業において、小泉・本沼地区換地委員会を開催、換地に向けた方向性を検討するとともに、視察研修を行い数種の営農作物の試験的作付けを決定した。里西・星の宮地区においては、事業に向けた説明会、視察研修会などを開催した。農地の担い手集積率は小泉・本沼地区などで集積が進み、最終目標値を大きく上回る 50.5%となった。新規就農者数は本年度 4 人で、累計 20 人と順調に増加、関係機関がチームで連携し就農者への指導・フォローを実施した。</p> <p>道の駅においてはイベントの開催、他イベントとの連携による集客、生産出荷体制の整備、出荷者の増により販売額、来場者数共に増加した。本年度来場者数は、77.7 万人(昨年 65.2 万人)、税抜売上げ 5.5 億円(昨年 4.5 億円)であり、目標値を大きく上回った。</p> <p>【政策 2 スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり】については、本年度から起業支援補助金制度を改正、新規 3 件を決定、空き店舗利用支援を盛り込み 1 件の利用があった。ものづくり支援では、食品分野でのブランド商品の認定審査会を設置した。また、手仕事人材バンクを開設した。益子焼では新商品 BOTE&SUTTO を開発、東京六本木において商品発表会及び展示販売を行った。フォトコンテスト入賞作品によるポスター・チラシを作成し、益子焼を使おう条例の PR、利用促進を図った。就労支援では、有効求人倍率 0.73 で目標を達成できなかったが、2/13 に芳賀・市貝と 3 町による合同就職面接会を開催し多くの求職者が来場した。</p> <p>【政策3 観光の基幹産業化】については、観光客入込数 275 万人、宿泊者数 47,515 人、外国人宿泊者数 1,157 人で、目標値を大きく上回った。旧南間ホテルは、名称が「ましこ悠和館」に、運営者も選考会を実施し決定した。改修工事も完了し、開館式典を 6/12 に行うことが決定した。観光戦略に向けてポイントカードシステムのプロポーザルを実施し、事業者を決定した。</p>	<p>【政策1】土地改良事業においては、小泉・本沼地区が換地計画を決定し工事をスタートさせるのと並行して、営農モデルとしてショウガ、ニンジン等の作付けを行い、営農作物選定を進める。里西・星の宮地区、西明寺地区においては事業推進協議会の設立を計画しているので、設立に向けた支援を行う。担い手確保のため新規就農者の発掘・支援を行い、果樹産地協議会の事業により事業継承のシステムを構築する。里西、小泉本沼地区などの農業の法人化に向けた取り組みに支援を行い、経営力の強化・安定化を図る。道の駅においては、駐車場の整備、新加工所建設に向けた準備、新商品の開発を進め、集客の増加、販売の拡大を図る。</p> <p>【政策 2】起業支援補助金制度は問合せ、申請が減少傾向にあるので、制度の周知を図り町内における起業者の増加を図る。ブランド商品認定は、食品分野での認証を進め新商品の開発を促す。益子焼では新商品 BOTE&SUTTO の道の駅ましこでの展示販売、深澤直人氏の講演会等をとおり、PRを行うとともに販売戦略を検討する。就労支援では、3町での合同面接会が効果を上げたことから、茂木町の参加による4町合同開催を実施し、参加企業の増加を図り求職者の就労につなげる。雇用支援奨励金制度が創設から3年目を迎え、次年度より開始となることから、町内事業所への周知、活用を図る。</p> <p>【政策 3】新たなポイントカードシステムの普及を図り、データ活用による観光戦略、観光誘客の検討、DMO等の設立を目指す。悠和館はオープンに向けて式典準備、宿泊運営者との協議を進めるとともに、平和のギャラリーの運営活用について検討し、観光誘客、平和学習の場とした活用を図る。インバウンド誘客を図るため、キャッシュレスを視野に入れながら外国人に対応できる環境整備を進める。</p>

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	農業生産体制の整備	進捗状況	100%		
KPI	新規就農者数 (H26年度からの累計)	本年度目標値	15人	現状値	20人
KPI	担い手集積率	本年度目標値	38.0%	現状値	50.5%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)	②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		①②新規就農者のフォローアップを実施。 ③4/24認定農業者協議会総会を開催し、年次計画を提示。 ④芳賀町に建設予定の新食肉センター整備に関する調整 (随時) ④4/19小泉・本沼地区畑総説明会を開催 ④4/21道の駅の指定管理者と生産振興に関する意見交換 ④4/13里西・星の宮地区畑総役員会を開催		
	5月	①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者や集落営農組織、農業生産法人等に対して、農地の利用や集積面積の拡大への支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進するとともに、施設園芸作物の作付けについて検討を進める。	①②園芸作物作付推進に向けた打合せ5/11、5/24 ③農業再生協議会幹事会5/8、総会5/30 ①②真岡北陵高校との打合せ5/17 果樹産地化に向けた打合せ5/25 益子町農業再生協議会の開催5/30		
	6月		6/1～需給調整現地 (水田) 確認の実施 6/1、6/8、6/15施設園芸 (土地利用型園芸) の打合せ 6/7関東農政局との意見交換会 6/11小泉本沼地区委員会 6/14道の駅生産者協議会役員会 6/20観光戦略会議キックオフミーティング 6/25農業講習会 (午前・午後) 6/25農業士との打合せ		
	7月		7/2里西地区畑総及び法人化説明会 7/3益子町果樹産地協議会の設立及び益子町果樹産地構造改革計画の樹立 7/4、11、24施設園芸推進戸別訪問 7/19土地利用型園芸マッチング 7/20就農セミナー事前打合せ 7/24、27認定農業者との打合せ		
	8月	①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者や集落営農組織、農業生産法人等に対して、農地の利用や集積面積の拡大への支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進するとともに、施設園芸作物の作付けについて検討を進める。	8/1果樹生産者訪問 (関東農政局) 8/4就農セミナー (都内) の開催 8/10小泉・本沼地区委員会 8/20農業委員と農業生産者の意見交換会 8/21進加工施設の設置に向けた打合せ 8/22新規就農者フォローアップ 8/28里西地区畑総説明会 8/29園芸推進戸別訪問 8/29エコ農業とちぎの認定		
	9月		9/6道の駅出荷者協議会役員会の開催 9/10-12真岡北陵高校インターンシップの受入れ 9/11小泉・本沼地区委員会 9/12他 新規就農者フォローアップ 9/20認定農業者役員との打合せ		
	10月		10/2-4認定農業者による農業視察研修会の開催 10/9、10、12施設園芸推進 (しょうが) 10/17、25露地野菜事例研究 (ほうれんそう、こまつな他) 10/26移住定住予定者と仕事 (農業) についての現地視察会 10/30視察研修会 10/29新規就農者の就農審査 (1名) (随時) 次年度の生産体制に関する協議の実施 (随時) 新規就農者のフォローアップを行なった		
	11月	①②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者や集落営農組織、農業生産法人等に対して、農地の利用や集積面積の拡大への支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進するとともに、施設園芸作物の作付けについて検討を進める。	11/1-2全国農林水産物直売サミットに参加 11/8-9全国農業担い手サミット参加、㈱ジューンが全国表彰 11/13芳賀農業振興事務所との農政懇談 11/16益子町町民祭の開催 11/19小泉・本沼地区委員会 11/28、29小泉・本沼地区土地改良事業説明会 11/19田野小学校いきいき講座 (益子町の農業と道の駅) 11/19貨客混載事業打合せ 11/26地域懇談会 (人農地プラン) の開催 (西明寺、大平) 11/30新規営農研修会の開催		
	12月		12/1田園100選夢プラン事業打合せ 12/6-7営農連絡協議会研修会 12/9星の宮地区農地整備事業説明会 12/10園地継承、新規就農支援に向けた打合せ (産地協議会) 12/11道の駅生産者協議会研修会 12/12園芸施設推進に向けた会議 12/13営農集落の法人化 (里西) に向けた研修会 12/21畑地帯整備生産に向けた営農打合せ		
	1月		1/8、15小泉本沼地区 (畑総) 営農作物打合せ 1/22里西星の宮地区土地改良整備事業打合せ 1/29JA営農集団法人化研修会 1/30営農産地化に向けた情報収集		
	2月		2/4小泉本沼地区委員会 2/5GAP勉強会 (町農業担い手研修) 2/16西明寺地区鳥獣害対策研修 2/19小泉本沼地区、2/21里西星の宮地区農業基盤整備研修 2/21里西星の宮地区土地改良事業推進協議会設立準備会 2/24新規就農希望者の現地見学会 2/25益子町再生協議会総会 2/26道の駅出荷者の親睦会開催		
	3月	①農地バンク貸付希望者等とのマッチング ②新規就農希望者に対するフォローアップを随時行なう。 ③認定農業者や集落営農組織、農業生産法人等に対して、農地の利用や集積面積の拡大への支援を行なう。 ④畑地帯総合整備事業を推進するとともに、施設園芸作物の作付けについて検討を進める。	随時 5新規就農者の現地指導調査 3/4小泉本沼地区換地委員会 3/8町イノシシ被害対策協議会 3/11小泉本沼営農組合の法人化に向けた学習会 3/12小泉本沼地区の生姜産地化に向けた講習会 3/15田園風景100選景観づくり協議会総会 3/18-22再生協議会営農計画書の受付 3/21里西星の宮地区土地改良事業説明会 3/25新食肉センター (県) 竣工検査 3/25益子町果樹産地協議会総会 3/26生産者協議会総会 3/26-28小泉本沼地区換地委員会 3/27里西星の宮地区土地改良事業推進協議会設立準備会		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②移住定住を視野に入れた就農者等の獲得に向けた果樹産地構造改革計画を策定。今後果樹産地協議会を設立し、事業を展開する。 ③既存集落営農組合と農業法人との流通マッチングを図るなど土地利用型園芸の仕組みづくりに着手することができた。 また、新規園芸作物の導入に向けた戸別訪問に着手するなど、県・J A・町が一体となった農業振興を進めていく。 ④里西・星の宮地区畑総推進協議会設立に向け説明会を行う。</p>	<p>①～③本年度は農業振興、生産体制の確立に向けた具体的取り組みに着手していく。また、新規就農者に関しては柔軟かつ継続的な支援を行なっていく。 里西地区に関しては、今年度内に法人化を進めたいとの意向があるので、適宜フォローアップを行なう必要がある。 ④里西・星の宮地区畑総推進を引き続き行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①～③新規就農者の継続的な指導・支援が必要である。 認定農業者や集落営農組織等においては意見交換会や視察事業を積極的に実施することができている。 ④里西地区畑総説明会を行った。</p>	<p>①②新規就農者のうち、2名については営農計画が脆弱な部分が見受けられることから、農業者や関係機関と連携のうえ具体的な指導・フォローアップを図る。 ④里西・星の宮地区畑総推進を引き続き行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①～③新規就農者の継続的な指導・支援が必要である。 適宜、新規就農者に対する支援を行なっている他、認定農業者や集落営農組織等においては情報交換や視察研修を計画的に実施することができている。 ④星の宮地区農地整備事業説明会を行った。</p>	<p>①②新規就農者に対する具体的な指導・フォローアップを継続的に行なっていく。 樹園地継承に向けた取り組みを進めるため、具体的な検討に着手していく必要がある。 ④里西・星の宮地区畑総推進を引き続き行う。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①～③新規就農者の継続的な指導・支援を実施した。 小泉本沼集落営農組合に関しては、法人化の学習会や営農作物の選定など具体的な検討が行われるなど積極的な事業・計画が遂行できている。 ④小泉本沼地区については、営農意向面談にもつぎ換地作業を行った。里西星の宮地区土地改良事業推進協議会設立に向け、準備を進めた。</p>	<p>①貸出希望農地について、認定農業者等への情報提供を行う。 ①～④新規就農者に対するフォローアップに関しては段階的かつ継続的な指導・支援が必要であることから、サポート体制をより強固にし経過観測を行なう。 集落営農組合の法人化に関しては小泉本沼地区で具体的な検討が進んでいることから、今後は法人化や営農支援体制を構築する必要がある。 ④小泉本沼地区は、換地計画原案を作成し、工事に着手する。里西星の宮地区畑総推進を引き続き行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	現在、果樹の産地化に向けた仕組みづくりの中で樹園地継承や就農移住といった担い手・後継者確保について検討を開始するところである。また、他の類似事例などの情報収集に努め、今後の制度設計を検証していく。
	第2四半期	②意見・提言 就農セミナーに関連し、真岡市ではイチゴ農家の継承者が首都圏から1ターンにより移住した事例があると説明があったが、なぜ就農する地として真岡市が選ばれたのか、真岡市との支援制度の違いなどを検証する必要がある。 後継者問題について、各農家には後継ぎがいたのに稼げない・生活が厳しい等の理由で継いでいないことと考えられることから、この問題を克服することが必要ではないのか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	K P Iは達成しているが、今後も継続して新規就農者や農業経営組織等の育成・確保に努めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 新規就農者数の目標値を達成しており、成長産業としての農業を確立していただきたい。	

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	地域農産物の販路開拓	進捗状況	100%		
KPI	道の駅来場者数	本年度目標値	56万人	現状値	77.7万人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①～⑤施設運営の指定管理者である（株）ましこカンパニーと管理運営協定を締結した。 4/8いちご感謝祭、4/14道の駅来場100万人記念イベント、4/23道の駅経営会議、4/26道の駅建築賞授賞式、4/28～益子春の陶器市道の駅への来場者数7.6万人（4月・OP累計1,039千人）	
	5月	①～⑤道の駅の指定管理者と業務仕様書に基づき管理運営協定を締結し、施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた計画検討を行なう。		春の陶器市期間中（4/28～5/6）の道の駅来場者数7.5千人 5/20、25生産・農業講習会 5/17真岡北陵高校との打合せ 5/18加工施設打合せ 5/29カンパニー株主総会 5/31BCS賞二次審査、JIA受賞記念祝賀会 道の駅への来場者数16.7万人（4月～5月末）	
	6月			6/6加工施設打合せ 6/10マシコカフェの開催 6/14道の駅生産者協議会役員会 6/20観光戦略会議キックオフミーティング 6/25農業講習会の開催 6/28道の駅経営会議 道の駅への来場者数21.5万人（4月～6月末）	
	7月			7/5芳賀地域インバウンド推進会議 7/10都内での販促活動（野菜・ブルーベリー） 7/14-16ビルマ汁フェス 7/20とちぎ輸出大国促進会議（益子町事例の紹介） 7/25都市農山村交流活性化機構オンラインショップでの商品販売開始（ピクルス、プリン）	
	8月	①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた検討を継続し、事業化を図る。		8/2, 17, 30高速バスを活用した貨客混載事業に向けた打合せ 8/30貨客混載事業試験運用 8/11-18ひまわり祭り、お盆フェア 8/28-29地域共通カードの視察 8/30全国道の駅連絡会主催催事への出店 8/30貨客混載事業の実施（農産物、果樹、加工品）	
	9月			9/3都内催事の実施打合せ 9/5グッドデザイン賞内定 9/14, 18, 20, 22貨客混載事業の実施 9/15-30土祭関連事業	
	10月			10/6～12道の駅二周年関連企画の開催 10/7益子の新米祭り（出荷者協議会主催）の開催 10/13-14道の駅二周年祭の開催 10/20町外催事（横浜地内）の開催 10/27-28町外催事（食農フェア）への出店 10/5 次年度の施設運営（管理運営）に関する協議を実施（随時）貨客混載事業の実施	
	11月	①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた検討を継続し、事業化を図る。		11/1-2全国農林水産物直売サミットに参加 11/13芳賀農業振興事務所との農政懇談 11/11町外催事（横浜市）の開催 11/15道の駅来場者累計150万人達成 11/16益子町町民祭への出店 11/19田野小学校いきいき講座（益子町の農業と道の駅） 11/19貨客混載事業打合せ 11/28次期指定管理協議 11/28田野小学校きょうめい発表会（道の駅）	
	12月			次年度に向けた事業調整を実施 12/9生産圃視察対応 12/14-15販路開拓（都内販促活動） 12/14貨客混載実証事業（益子-都内-山梨） 12道の駅年末商品予約販売の実施	
	1月			1/2～いちご摘み取りの開始 1/15栃木県いちご王国マルシェ（県庁）出店 ナチュラルローソンでのとろたまぶりん販売に向けた調整 1/11, 18, 23海外販路開拓（いちご・インバウンド）に向けた事業打合せ	
	2月	①～⑤施設運営者が道の駅で行う事業を支援する。生産振興とブランド化、商品確保に向けた検討を継続し、事業化を図る。		2/13-17海外販路開拓（いちご・タイ・インバウンド）*PR展示のみ 2/14復興支援展（都内）、2/14エキナカ催事（大宮駅）出店 2/17いい芳賀いちご夢街道いちごSL運行 2/23, 24道の駅ましこいちごまつり 2/25道の駅ましこ次年度事業計画の公表	
	3月			3/2-3道の駅フェスタ出店（道の駅しもつけ） 3/5農業インバウンド事業打合せ 3/17もおかいちごフェスタ出店（真岡市） 3/19～ナチュラルローソンでのプリン販売開始 ギフトカタログ（春夏）の製作に着手	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。来場数及び売上高は順調に推移しているが、安定的な顧客の獲得に向けた販売戦略が必要となる。観光戦略会議（アドバイザーから）で指摘のとおり、顧客データ管理は今後の運営を大きく左右するものであり、データの把握・管理手法を検討する必要がある。</p>	<p>6月から7月に閑散期を迎えることから、安定的な顧客の獲得に向けた品揃えの充実や品質の確保を進めていく。顧客データの蓄積とともに道の駅カードを含めたデータの一元化に向けた検討を行なうよう指導する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。来場数及び売上高は順調に推移。関連企画、関連事業との連携がうまく機能している。店内販売は棚上面積が限られていることから商品や単価構成を再度検証する必要がある。</p>	<p>年末にかけて端境期を迎えることから、年末商戦に向けた安定的な品揃えと顧客の獲得が不可欠となる。また、来年度以降は指定管理の見直し時期となることから中長期の事業計画を管理者とともに調整・検討を進める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。来場数及び売上高は順調に推移。対年比でも来場数約114%、売上高約120%になるなど大幅に前年を上回る実績となった。ピーク時等において店内レジが混雑するなどの弊害が生じている。</p>	<p>次年度は指定管理期間の更新期を向かえることから、中期事業計画に基づいた業務仕様の検討を行う。また、販売体制をより強化するため、自社商品の充実を図るべく新加工施設の検討に着手。ピーク時の混雑を緩和するため、店内レイアウトや棚上の配置変更、レジ増設などを含めた調整を行う。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。来場数及び売上高は順調に推移。対年比でも来場数約119%、売上高約121%になるなど年間実績に関しても前年を上回る結果となった。販路開拓に関しては、店頭販売以外の取組みとして外販催事や貨客混載事業、カタログ販売等が展開されているが、計画に掲げる取り組みの着手には至っていないものもある。</p>	<p>中期事業計画に基づいた事業方針が示され、新たな取組みもスタートすることから、ハード事業に特化した支援体制の強化を図る。販路開拓に関しては、新加工施設の計画と併せて新商品の開発、地産地消の推進、関係機関と連携した新たな販路の開拓に努めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続して実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していくとともに、顧客ニーズに即したサービスの提供を行うなど、更なる集客増加に努めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 道の駅事業は順調に来場者数を伸ばしており、様々なツールでPRできている。今後も農産物の販路拡大のため、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	成長産業としての農業の確立		
施策	地域農産物の販路開拓	進捗状況	100%		
KPI	道の駅来場者数	本年度目標値	56万人	現状値	77.7万人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月				
	5月	②農業体験と連携したプログラムづくりの検討・情報発信・事業実施		②「益子小麦物語」開催内容について打合せ。5/7。 ②「里山ガールズ」視察研修・開催内容について打合せ。5/15 5/22。 ②「里山ガールズ」茨城県城里町へ視察研修。（狩りガール事業）。5/22。参加者8名。	
	6月			②「益子小麦物語」第1回開催6/24。参加者21名。 ②「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。6/1。 ②「益子の水藍物語」第1回開催6/24。参加者13名。	
	7月			②「益子の水藍物語」第2回開催 7/29。参加者15名。	
	8月	②農業体験と連携したプログラムづくりの検討・情報発信・事業実施		②「ましこドレッシングの会」第1回開催 8/4。参加者7名	
	9月			②「益子の水藍物語」第3回開催9/15。参加者8名。	
	10月			②「ましこドレッシングの会」第2回開催予定10/20。中止 ②「里山ガールズ」第1回開催予定10/13。中止	
	11月	②農業体験と連携したプログラムづくりの情報発信・事業実施		②「里山ガールズ」第1回開催11/10。参加者11名。 ②「益子小麦物語」第2回開催11/11。参加者14名。	
	12月				
	1月			②「ましこドレッシングの会」第3回開催1/26。参加者10名。	
	2月	②農業体験と連携したプログラムづくりの情報発信・事業実施・事業報告会		②「益子の水藍物語」第4回開催2/10。参加者12名。 ②「益子小麦物語」第3回開催2/11。参加者12名。 ②「里山ガールズ」第2回開催2/23。参加者9名。	
	3月			②「ましこドレッシングの会」第4回開催3/23。参加者13名。	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②ラーニングパッケージ2事業について、予定通りの進捗。主催団体と連絡調整をし、メディアへの情報発信・参加者の申込み管理等滞りなくできている。今後も主催団体と連携を密に意思疎通図れるよう努める。</p>	<p>②現在申請予定の2事業について協議中、適切な時期での受付・情報発信に努める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②ラーニングパッケージ3事業について、予定通りの進捗。主催団体と連絡調整をし、メディアへの情報発信・参加者の申込み管理等滞りなくできている。今後も主催団体と連携を密に意思疎通図れるよう努める。</p>	<p>②現在申請予定の1事業について協議中、適切な時期での受付・情報発信に努める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②ラーニングパッケージ4事業について実施。メディアやリピーターへのPR不足を反省する。</p>	<p>②主催団体と連絡調整をし、メディアやリピーターへの情報発信に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②ラーニングパッケージ4事業について、それぞれ主体的に事業計画を立て実施出来ている。今後の自立性に繋げていきたい。参加の申込状況については、事業によって苦勞している団体があり、さらなる誘客PRが必要と考える。</p>	<p>②益子ラーニングパッケージ事業として、4事業連携したPRを進める。(情報を集約したポスター・チラシを制作し、一体的にPRする)</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	主催団体及び関係各課と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	主催団体及び関係各課と連携し、事業の推進, PRを図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ラーニングパッケージン事業について、さらなるPRを実施すべき。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	商店の活性化と起業支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	起業支援補助金利用件数 (H26からの累計)	本年度目標値	14件	現状値	22件
KPI	空き店舗利用件数 (H26からの累計)	本年度目標値	4件	現状値	6件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①起業支援補助金制度の周知 ②商工会へ起業家への指導依頼、後継者育成セミナー内容検討、融資制度の周知 ③ポイントカード実施に関する検討 ④空き店舗の状況について、関係課との情報共有 ④求人情報・起業支援情報の収集・発信	①広報ましこ、お知らせ版へ募集記事を掲載し周知を図る。(問合せ2件) ②商工会へセミナーの開催を依頼(英会話、事業継承) ②融資申込 4件 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置。		
	5月		①起業支援補助金審査会(5/22 1件認定)補助金(問合せ1件) ②融資申込 5件 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置。		
	6月		①起業支援補助金(問合せ1件) ②融資申込 6件 ③観光戦略アドバイザー山田桂一郎講演会の実施。6/20。参加40名。 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置。		
	7月		①④県経営支援課、商工会、企画課と起業支援、空き店舗活用に関する打合せを実施(7/2)、起業支援補助金(問合せ2件) ②中小企業庁訪問(7/24・商工会員向け補助金講演会の依頼) ②融資申込 3件 ③気仙沼クルーカードの視察に向けて検討		
	8月		①起業支援補助金(問合せ1件) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(8/25、14回シリーズで実施予定 3名が受講) ②融資申込 7件 ③気仙沼クルーカードの視察の実施(8/28~29) ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置		
	9月		①起業支援補助金の案内をお知らせ版に掲載(9月上半期) ②商工会と連携し、事業者への消費税軽減税率制度のセミナー開催に向けて準備を開始 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー(9/1, 15, 29) ②融資申込 6件 ③気仙沼視察を終えて、参加者にアンケートを依頼 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置		
	10月		①起業支援補助金(問合せ2件) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(10/6) ②事業承継セミナーの開催日等決定 ②融資申込 4件 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置		
	11月		①起業支援審査会の実施(11/26 2件) ②商工会と連携し消費税軽減税率制度と対策補助金のセミナーを実施(11/22 31名) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(11/17, 24) ②融資申込 4件 ③ポイントカード内部打合せ実施 ④月3回、道の駅・役場ホール等に求人情報紙を設置		
	12月		①起業支援補助金(問い合わせ1件)、交付決定1件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(12/1) ②事業承継セミナーの実施(12/11 11名) ②融資申込 5件 ③ポイントカード内部打合せ実施 ④空き店舗を活用した起業支援補助金の交付決定1件		
	1月		①起業支援補助金(問い合わせ1件) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(1/12 1/19) ②商工会へ経営指導依頼 ②融資申込 5件、金融機関、商工会との融資関係打合せ(1/28) ③ポイントカード内部打合せ実施		
	2月		①起業支援補助金(問い合わせ1件)、交付決定1件 ②益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施(2/27登り窯焼成) ②融資申込 8件 ③ポイントカード内部打合せ実施		
	3月		①起業支援補助金実績報告3件(内空き店舗活用1件) ②商工会へ起業家への指導を依頼(特定創業支援事業) ②益子焼人材確保・後継者育成セミナー参加者の焼成作品展示(陶芸メッセ3/12~17日) ②融資申込 12件 ③ポイントカード業者選定のプロポーザルの実施(3/1)		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①起業支援補助金の相談や申請件数が少ないため、更なるPR方法を検討する。 ③気仙沼市クルーカードの実例を教示いただく。実例の研究は有効。 ④有効求人倍率が上がっている現状にある。そのため、実施内容は継続し、求人情報紙が届いたら速やかに道の駅や町関係施設等に配置し、町HPに掲載をしている。</p>	<p>①新たなPR方法について検討する。 ③今後もこのような実例等の研究を続ける。 ④引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②事業者向けの消費税軽減税率セミナー開催に向けた方向性を決めることができたので、多くの方に参加いただけるよう検討する。 ③気仙沼クルーカードの視察を終了し、今後の方向性や課題等について各団体と検討し連携を図る。</p>	<p>②消費税軽減税率セミナーにたくさんの方が参加いただけるようPRに努めるとともに、スムーズな開催に向けて関係者と連絡を密にとる。 ③参加者にアンケートをお願いしているので集計し、今後の方向性について検討協議する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①商工会と金融機関が連携して書類作成を指導しており、申請手続きがスムーズになった。 ②事業者向けの消費税軽減税率セミナー、事業承継セミナーを実施することができ、準備の必要性について問いかけることができた。 ③ポイントカード導入に向けて、町の戦略に合致するカードを検討中である。 ④空き店舗を活用した起業支援補助金申請が初めて提出された。</p>	<p>①起業支援補助金を引き続きPRし、申請者の拡大に努める。 ②事業承継セミナーを引き続き開催できるように関係者と連携を図る。 ③町の戦略に合うポイントカードの導入業者を検討し、関係者等と連携を密に取りながら導入に向けた準備を進める。 ④空き店舗活用の起業支援補助金のPRに努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①起業補助金を3名の方に交付することができた。 ②商工会と連携し起業者への支援をすることができた。 ③ポイントカードの導入に向けて業者を選定することができ、本部のシステムが確立した。</p>	<p>①平成29年度と比べると起業支援補助金申請者が減ってしまったため、引き続きPRに努めて利用者が増加するように図っていきたい。 ②商工会と連携を図り、起業者等の情報を共有し支援ができるように努めていく。 ③ポイントカードの各店舗への導入に向けて、商工会やシステム業者等との連携を図る。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ポイントカードの他、キャッシュレス化への取組（複数のシステム導入など）を強化願いたい。	商工会と連携しポイントカードの実施やキャッシュレス化等の説明会の開催を検討する。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	100%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	14件	現状値	0件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		①道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において商品の提供・販売を行った。 ①新商品として、とろたまぷりゅレ、摘果メロンのピクルス、莓ヴェルジュの販売開始。 4/12生け花ワークショップの開催 4/22ポタリングましこツアーの開催		
	5月	①商品開発事業の実施主体が地域農産物を活用した商品の開発に着手し、商品の提供・販売を行う。 ①農産品について認証制度の確立に向けた準備を進める。	①地方創生事業（商品開発事業）に関する打合せ 5/18、5/30道の駅加工施設（施設検討）に関する打合せ 道の駅にて新商品としていちごを使用したゼリーを商品化 5/26、27いちご狩り体験の実施		
	6月		6/6加工施設打合せ 6/14地方創生事業（商品開発事業）に関する打合せ 6/20観光戦略会議キックオフミーティングへの参加		
	7月		7/17加工施設打合せ 7/ブランド商品認定に向けた要綱要領等の作成 益子町地域特産品認証審査委員会の設置		
	8月	①食品分野（農産品）について、認証制度に向けた認証委員会を開催する。 ①開発商品の安定供給に向けた支援を行なう。	8/7地域特産品認証審査委員会（第1回）を開催 8/9、21新加工施設の設置に向けた打合せ ラーニングパッケージ（加工）の開催		
	9月		随時・新加工施設の設置に向けた打合せ ポタリングガイドツアーの開催		
	10月		10/20ラーニングパッケージの開催 10/21ポタリングガイドツアーの開催 10/23とろたまぷりゅんがフードアクションアワード2018大賞を受賞 次年度の商品開発事業に関する協議を実施。		
	11月	①食品分野（農産品）について、第二回目の認証委員会に向けた準備に着手する。 ①開発商品の安定供給に向けた支援を行なう。	11/10ラーニングパッケージ（里山ガールズ） 11/11道の駅加工商品の販促活動（横浜市内） 11/13次年度事業の打合せ 11/23ポタリングガイドツアーの実施 11/23-25そば祭りの開催 11下旬～ギフトカタログの展開、年末商材の販売予約開始 次年度の商品開発事業に関する協議を実施		
	12月		次年度に向けた事業調整を実施 12/2ポタリングガイドツアーの実施 12/9芳賀青年の家てびねり教室の開催 12/12進加工施設に関する打合せ		
	1月		次年度に向けた事業協議 1/7益子町景観づくり協議会設立 1/15、19同上、大郷戸ダム周辺景観整備支援（FW14名・WS24名の実施） 1月～同上、田園風景百選夢プラン（地域活動計画）の作成に着手		
	2月	①食品分野（農産品）について、認証制度に向けた認証委員会（第二回目）を開催する。 ①開発商品の安定供給に向けた支援を行なう。	随時 道の駅加工施設設置に向けた打合せ等 2/23-24道の駅いちご祭り		
	3月		新加工施設建設に向けた準備・検討 本年度分商品開発事業の実績及び成果の確認		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 新商品に関しても、地元素材を活用した商品づくりが行なわれている。 ブランド認証制度に関しては制度設計を終え、第2期から事業に着手する。 加工施設の機能強化に向けた検討に着手した。</p>	<p>商品づくりに関しては継続的かつ安定的な生産体制が図れるよう引き続き管理指導を行う。 食品ブランドに関しては認証制度が公平かつ適正に運用できるよう認証委員会の運営を進めていく。 加工施設の機能強化に関しては、顧客ニーズを踏まえ、かつマーケティング・ブランディングに基づいた商品づくりが行なえるよう運営者と調整を図る。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 新商品に関しては、商品化に向けた具体的な試作・開発に着手するよう指導する必要がある。</p>	<p>新商品づくりに関しては試作研究を行なうなど生産体制の構築に向けて引き続き管理指導を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 現時点では、新しい商品の開発には至っていない。 地域素材を活用した商品の充実が来訪者から求められている。</p>	<p>新商品づくりに関しては早急に試作研究を行なうなどの管理指導を徹底して行う。 地域素材を活用した商品が求められていることから、新加工施設の検討に着手するとともに体制構築を進めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>加工施設の運営管理は指定管理者が適正に行なっている。 新加工施設の開設に向けた準備に着手しているが、計画から設計、建築の多岐に渡ることから人員を含めた事業体制は十分とはいえない。</p>	<p>新加工施設の開設に関しては、人員の配置を含め組織体制を強化し、円滑な事業進行を図る必要がある。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	ブランド商品の認定（食品部門）に関しては、地域特産品認証委員会の中で認証の基準や実施（作業）工程等を明確にし、早期の商品認証に向けて事業を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 ブランド品認定制度について、進捗が思わしくないようであるので早急に工程表・スケジュールを作り進めていくことが必要ではないか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	加工施設の規模拡張に伴い、六次製品の創出や開発、住民利用の促進が期待される。また、ブランド商品（農産部門）の認定に関しては早期の商品認証に向けて事業を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 工程表ができていないため進捗が遅れていると思われる。また、認証委員会が設置されたようだが、ブランド構築に向けた有識者かどうか重要だと思われる。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	ものづくりの育成・支援	進捗状況	100%		
KPI	ブランド商品認定数（累計）	本年度目標値	14件	現状値	0件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		④かさましこウェブサイト「陶の里かさましこ」 ・アクセス数参照機能追加		
	5月	②手仕事人材バンク設置の準備 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。	④かさましこウェブサイト「陶の里かさましこ」 ・多言語化（英語版、中国語繁体語）		
	6月		④かさましこ観光協議会幹事会。6/19。同総会。6/26。		
	7月				
	8月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置の準備 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。			
	9月		④かさましこウェブサイト「陶の里かさましこ」へ、益子陶芸美術館企画展「英国ラブリイ派」を掲載。		
	10月		④かさましこ幹事会。10/19。広域観光キャンペーンの取組みについて		
	11月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置の準備 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。	②町HPに手仕事をしている人材の紹介を掲載できるよう検討中 ④かさましこPR事業「益子陶器市会場の広域観光キャンペーン」 観光パンフレットを300セット配布 11/4 ④かさましこ関連「笠間匠まつり」への益子焼出展。11/10～11/11		
	12月		②手仕事人材について、道の駅の担当者と情報交換		
	1月		②手仕事人材バンクについて検討		
	2月	①ブランド認定制度の検討 ②手仕事人材バンク設置の準備 ③インキュベーションセンター設置の検討 ④かさましこ観光協議会において、連携事業の実施。	②手仕事バンクの取り扱い規定を決定（2/27）		
	3月		②手仕事バンクのチラシを作成し全戸配布（3/29）、HP掲載依頼を個別に実施。ましこ広報、お知らせ版でPR周知 ②HPを立ち上げ2名掲載 ④かさましこ幹事会。3/12。誘客促進PRイベント（渋谷ヒカリエ企画展）の取組みについて		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②対象者の情報収集を昨年に引き続き実施していく必要がある。 ④かさましこ協議会として広域連携による誘客事業・回遊事業・観光ルートの開発を検討。</p>	<p>②対象者の情報収集を実施し、HP掲載について検討する。 ④かさましこの連携事業による両市町の効果的なPR活動に努める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④かさましこ協議会として広域連携による誘客事業・回遊事業・観光ルートの開発を検討。</p>	<p>④かさましこの連携事業による両市町の効果的なPR活動に努める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②手仕事人材バンクのHP掲載条件の内規を作成する必要がある。 ④かさましこ協議会として益子町・笠間市双方のイベント会場にて広域観光キャンペーンを実施し多くの顧客にPRすることができた。</p>	<p>②手仕事人材バンクHP掲載の内規の作成について検討する。 ④かさましこの連携事業による両市町の効果的なPR活動に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②ましこの手仕事バンクのHPを立ち上げ3月末で2名を掲載することができた。手仕事をしている方をたくさん掲載できるかが課題。 ④かさましこ協議会として、2019年度渋谷ヒカリエでの企画展（今後、隔年開催計画）の開催に向け、企画概要・予算案を検討した。</p>	<p>②HPに掲載者が増えるようにPRに努め、個別に掲載依頼をお願いしていく。 ④かさましこの連携事業として、首都圏向け企画展は効果があるものとする。事業実施に向け、検討事項の協議を進めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	主催団体及び関係各課と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 工程表ができていないため進捗が遅れていると思われる。	手仕事バンクへの掲載者募集のPRを引き続き継続していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	世界一が集う焼きものの町づくり	進捗状況	100%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	38億円(H31)	現状値	29.2億円(H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③地域振興拠点施設企画展示事業について、受託者である株式会社ましこカンパニーに対し、交付決定を行なった。 ③今期第一回目となる企画展示「ガーデン展」を開始した。		
	5月	③地域振興拠点施設企画展示事業に着手する。 ③受託者が、今期一回目となる企画展示事業を実施する。 ③受託者が、二回目となる企画展示事業の準備に着手する。	③今期第一回目となる企画展示「ガーデン展」の実施。		
	6月		③6/2-3、23-24芳賀青年の家主宰手びねり体験（各100名参加） 6/14生け花ワークショップ		
	7月		③今期第二回目となる企画展示「ミチカケ展」を開始し併せて関連企画を実施。		
	8月	③受託者が、二回目となる企画展示事業を実施する。 ③受託者が、三回目となる企画展示事業の準備に着手する。	③今期第三回目となる企画展示「土祭展」を開始し、併せて関連企画を実施。		
	9月		③今期第三回目となる企画展示「土祭展」を開始し、併せて自転車ガイドツアーや土祭夕焼けバー等の関連企画を実施。 次回企画、ましこ世間遺産展の準備調整。		
	10月		③10/13～ましこ世間遺産展・益子を知る、学、極めるの開催。 次年度の企画展示事業に関する協議を実施。		
	11月	③受託者が、三回目となる企画展示事業を実施する。 ③受託者が、四回目となる企画展示事業の準備に着手する。	ましこ世間遺産展・益子を知る、学、極めるを開催 11/2-5益子秋の陶器市 11/11芳賀青年の家との合同企画の実施 11/13次期企画展示及び次年度事業に係る打合せ		
	12月		次年度に向けた事業調整を実施 ましこ世間遺産展・益子を知る、学、極めるを開催 12/9芳賀青年てびねり教室の開催		
	1月		次年度に向けた事業協議 1/10生け花WS 1/19～企画展示「器でみる益子の晩餐展」の開始		
	2月	③受託者が、四回目となる企画展示事業を実施する。	企画展示器でみる益子の晩餐 益子焼を使おうフォトコンテストパネルの展示 次年度の企画内容について調整、確認を行った		
	3月		企画展示器でみる益子の晩餐 益子焼を使おうフォトコンテストパネルの展示 本年度分企画展示事業の実績及び成果の確認		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>受託者が適正に事業を実施している。 次回からは今年度実施される土祭に関連した展示が予定されているので、効果的かつ効率的に事業のPRや集客効果を図っていく必要がある。</p>	<p>土祭に関連する展示については、事業の方向性や展示効果について土祭実行委員会との協議調整を行うよう受託者に対し指導を行なう。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>受託者が適正に事業を実施しているが、次回以降の企画内容が不安定であることから実施者との調整が求められる。</p>	<p>当該事業の主旨や効果について再度受託者と協議調整するなど実施に向けて適切な指導を行なう。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>受託者が適正に事業を実施しているが、事業主旨に沿った企画・展示が求められる。</p>	<p>当該事業の主旨や効果について再度受託者と協議調整するなど事業実施に向けて適切な指導を継続して行なう。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>受託者が適正に事業を実施しているが、事業主旨に沿った企画・展示が求められる。 施設供用から3期目を向かえ、展示回数が増すにつれ、企画が困難になってきている。</p>	<p>事業主旨や内容、役割を再検討するなど、円滑な事業の実施と効果の発現に努めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に沿った事業運営を継続して実施していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 企画展示のPRを強化し、効果的な集客向上を図っていただきたい。	企画展示のPRを強化し、効果的な集客向上を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	世界一が集う焼きものの町づくり	進捗状況	100%		
KPI	益子焼総販売額	本年度目標値	38億円(H31)	現状値	29.2億円(H28)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動			
	5月	②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築		④4/11～5/26迄 公募作家 マシュー・フレクリ氏滞在、公募作家によるワークショップ、講演会等の実施（98人・4回） ⑥益子芳星高校への協力内容について連絡 5/23	
	6月	⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①新商品開発事業関係者打合せ。6/13。 ②使おう条例PR用マグカップ50個購入、6/14ましこdeカフェでマグカップを貸出PRを実施、インスタグラム更新（2回、フォロー300人） ④成果展「ジョン・ヘディング」展の開催 3/30～6/17	
	7月			①町関係者打合せ。発表会（東京）の日程調整。スケジュール確認。 ②条例PR用ぐい飲み75個と片口5個購入、益子焼PRのためインスタグラムフォトコンテストについて検討。 ④6/6～7/30迄 公募作家 カン・カフ氏滞在、公募作家によるワークショップ、講演会等の実施（80人・5回） ⑤人材育成のためのスキルアップセミナー募集開始（3人応募有）	
	8月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動 ②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①町関係者打合せ。8/8。商品発表会（東京、ミッドタウン）の日程1/25で調整。 ②インスタグラムフォトコンテストの発注。 ④公募プログラム2019の募集（7/3～8/31・応募者17名） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（8/25、14回シリーズで実施予定） ⑥益子芳星高校と打合せ（8/8）	
	9月			①デザイナー・販売元・町関係者打合せ（東京、池袋）を11/14で調整。 ②インスタグラムフォトコンテスト募集開始（9/10～）HP、お知らせ版、インスタグラム、ポスター、チラシ等で広報③益子焼関係団体協議会原土会チーム・シェフとコラボ企画で新商品開発中、PRチーム・米沢なせはなる秋祭にて販売とPR事業を実施（9/22～23） ④アーティスト・イン・レジデンス研究会参加（女子美術大学9/23～24）、リハモト氏&佐々木クレイカレッジと交流（9/26・45人） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー（9/1、15、29） ⑥益子芳星高校と打合せ	
	10月			④佐々木工房館長 比呂・ハッキー氏滞在（10/7-11）、公募プログラム2019の応募者選考（10/24・1名） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（10/6）	
	11月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動 ②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①新商品発表会、町内打合せ。11/8。販売元・町関係者 ①新商品発表会、都内（池袋）打合せ。11/14。デザイナー・販売元・町関係者 ①新商品「BOTE&SUTTO」のハンフレット制作のための窯元取材対応。制作元：イデー。取材先：濱田窯・清窯・道祖土和田窯。 ②町民まつりにおいて益子焼の箸置き無料配布を実施しPRを実施。 ④9/18-11/2迄 招聘作家ベニー・シフツ氏滞在、招聘作家によるワークショップ、講演会等の実施（100人・4回） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（11/17、24）	
	12月			②インスタグラムフォトコンテストの審査会終了。（12/3）14名の入賞者を決定し賞品の発送、入賞者の発表（HP、インスタグラム）を終了。 ④英国魅惑のスリッウェア展の開催10/6-12/9、アーティスト・イン・レジデンス研究会（12/11-12）、実務研修（12/7-9） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（12/1） ⑥今年度分の益子芳星高校益子焼の授業へ消耗品の支援済	
	1月			①新商品「BOTE&SUTTO」発表会。1/25。東京ミッドタウン。 ②道の駅で益子焼を使おうフォトコンテストの入賞作品の展示（1/19～3/24）②益子焼を使おう条例PR用チラシ、ポスターの印刷依頼 ③道の駅「器でみる益子の晩餐」を実施。（町内の飲食店で使っている益子焼の紹介） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（1/12、19）	
	2月	①深澤デザインと新商品開発事業について販路開拓及びPR活動 ②益子焼を使おう条例の推進 ③道の駅を拠点に、益子焼などの工芸品を暮らしの空間に取り入れられるよう推進 ④益子国際工芸交流館を拠点に、世界中から焼きものを学びに来る仕組みづくりの構築 ⑤窯業技術支援センターでの人材育成支援 ⑥益子芳星高校で行なわれている益子焼の授業の充実に協力		①新商品「BOTE&SUTTO」町内発表について協議。2/8. 21 ②益子大使・宣伝部長へのPR用品として、伝統工芸士萩原典氏の作品が納品となった（2/28） ③益子焼を使おう条例PR用のポスター・チラシが納品となり、自治会全戸配布でPRした（2/28） ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナーの実施（2/27登り窯焼成）	
	3月			①新商品「BOTE&SUTTO」町内発表について協議。3/1. 13. 19 ②益子大使・宣伝部長へPR用品の益子焼を発送（3/6） ②益子焼を使おう条例PR用のポスター・チラシを町内の飲食店や販売店に伺い、掲示等の依頼をした ④リチ工房研修募集説明会開催（2/23. 24. 3/5. 12. 21）、3人成果展の開催3/30～ ⑤益子焼人材確保・後継者育成セミナー参加者の焼成作品展示（陶	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①新商品発表会に向けたカタログ制作についてのスケジュール確認。その他、商品化するまでの必要作業を共有した。 ②使おう条例制定による機運の盛り上げりを維持させていくことが課題。 ④成果展「ジョン・ペーティング」展を益子陶芸美術館で開催。公募作家マシュー・ブレイカー氏によるワークショップ、講演会等を開催し、町内外の陶芸及び工芸作家などとの交流プログラムの推進が図れた。</p>	<p>①商品化への最終チェック及び商品発表の日程・場所の決定に向けて、関係機関と調整が必要。 ②使おう条例推進のため、ポスターチラシの印刷について検討する。フォトコンテストの周知に向けて検討する。 ④公募作家及び招聘作家のプログラムの実施遂行準備を行う。公募プログラム2019の募集を開始する。(7月～)</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①新商品発表会に向けたカタログ制作工程のスケジュール確認。商品発表会の日程、場所が決まり、それに向けた必要作業を共有できた。 ②フォトコンテストのPRが上手く周知されているかが課題。 ②益子焼関係団体協議会の各チームの持っている課題等について、定例会で話し合い解決できるようにする。 ④公募作家ハツ・カルブ氏によるワークショップ(中学校校)、講演会等を開催し、町内外の陶芸工芸作家や町内の学生との交流プログラムの推進が図れた。また、国内の4つのAIR運営団体との交流研究会での意見交換情報収集を行えた。伴「リズレイケック」(陶芸訓練校)との交流で益子の魅力をPRすることができた。</p>	<p>①新商品のサンプル品を完了させ、カタログ制作を進める。商品発表会にむけて、関係機関との協議を進めていく。 ②メディアに向けてPRに努め、たくさんの方から応募があるように働きかける。 ②益子焼関係団体協議会の各チームの事業がスムーズに開催できるよう協力する。 ④2018秋招聘作家のプログラムの実施、遂行を図る。公募プログラム2019の応募者選考を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①新商品発表会に向けて、発表会会場にて打合せを行うことができた。イベント内容についても、デザイナー・販売元との調整を行うことができた。 ②フォトコンテストを実施したことにより、4月のフォロワー数が約200人から12月には約700人まで増やすことができた。 ④公募プログラムの応募者選考を行い1名を決定。招聘作家によるワークショップ、講演会等を開催し、町内外の陶芸及び工芸作家などとの交流推進が図れた。国内AIR運営団体との実務研修、研究会での情報交換を行えた。また、美術館事業と連携した企画展を開催することができた。</p>	<p>①新商品発表会に向けて、イベントと商品のPRに努める。 ②フォトコンテストの入賞作品を活用し「益子焼使おう条例」のポスター、チラシを作成しPRに努める。 ②益子大使、宣伝部長の皆さんに益子焼を宣伝していただく焼き物の準備を陶芸家さんと打合せをし、3月上旬ごろには発送できるよう手配する。 ④交流事業の成果展の開催準備や事業広報、推進についての検討をする。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①益子焼新商品「BOTE&SUTTO」の町内発表について概要が決定。道の駅ましこでの企画展示、益子参考館での深澤直人ディスカッション。 ②益子大使・宣伝部長へ益子焼を送りPRをお願いすることができた。 ②インスタグラムフォトコンテスト入賞者上位5名の作品を活用し、ポスターとチラシを作成することができた。チラシを全戸配布をしたり、お店に配布しPRに努めた。 ④成果展の準備をし開催することができ、また、リチ工房研修プログラムの募集説明会を5回開催することができた。</p>	<p>①益子焼新商品「BOTE&SUTTO」の町内発表について、関係機関と協議を進め、効果的なPRと、今後の販路拡大に繋げるよう努める。 ②益子焼を使おう条例を推進するためのPR方法を検討する。2回目となるフォトコンテストがスムーズに開催できるよう、昨年度の反省を踏まえて準備をしていく。 ④公募作家及び招聘作家の2019プログラムの事業推進、及び2020年に向けたリチ工房研修プログラムの事業推進を図る。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期		
	第2四半期	<p>委員の検証及び意見・提言</p> <p>①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし</p> <p>②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。</p>	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
総括（下半期も含む）	第3四半期	<p>委員の検証及び意見・提言</p> <p>①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし</p> <p>②意見・提言 KPIである「益子焼総販売額」について、KPIが毎年更新されないことから適切な検証を毎年行うことができない。毎年検証できるKPIの設定が望ましい。</p> <p>フォトコンテスト、BOTE&UTTOの効果的なPRで魅力を発信願いたい。</p>	<p>フォトコンテストについては、ポスター・チラシを作成するほか、8月～10月にかけて道の駅で実施する、益子焼関係団体協議会の展示においてPRをし、魅力発信に努める。</p> <p>BOTE&SUTTOについては、MASHIKO Product（窯元＋販売店組合にて形成された組織）の支援に努める。</p>
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	75%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.8	現状値	0.73 (1月～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			未実施	
	5月	④松本入町有林整備 (竹林除去) に向けて現地確認等			④松本入町有林現地踏査
	6月			④松本入町有林整備に向けたみどり推進機構との連絡調整	
	7月			④シルバー人材センターと松本入町有林現地踏査	
	8月	④松本入町有林竹林整備のための見積書の徴集			④竹伐採に向けたスケジュールの作成
	9月			④シルバー人材センター職員及び作業員による現場確認	
	10月			④竹伐採に向けたスケジュールの作成	
	11月	④松本入町有林整備作業			④竹伐採に向けたスケジュールの作成
	12月			④竹伐採に向けたスケジュールの作成	
	1月			④シルバー人材センター職員及び作業員による現場確認	
	2月	④松本入町有林整備作業			④現場付近に居住している住民の同意が得られず、作業ができなかった。
	3月			④現場付近に居住している住民の同意が得られず、作業ができなかった。	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、機械等は「みどり推進機構」と貸与協議している状況である。シルバー人材センターへ効率的な業務委託ができるよう努めていく必要がある。</p>	<p>④竹林の整備はシルバー人材センターへ委託することになると思われる。効率的業務を実施するためには、稼動力のある竹チップパー等機器等を貸与し作業することにより委託額が安価にすることができる。今後「みどり推進機構」と機器貸与について連絡調整を図っていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より借り受けている状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。</p>	<p>④竹林の整備を効率的業務を実施するためには、町有林内の放置竹林箇所等の把握をし、実施箇所を検討していくことが必要となる。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④松本入町有林（竹林）の整備にあたっては、竹チップパー機を、みどり推進機構より借り受けている状況である。シルバー人材センターが効率的な業務が実施できるよう地元自治会他と連絡を密にすることが必要である。</p>	<p>④竹林の整備を効率的業務を実施するためには、町有林内の放置竹林箇所等の把握をし、実施箇所を検討していくことが必要となる。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④松本入町有林（竹林）の整備については、作業時の騒音等により、付近に居住している住民からの苦情等により作業することができなかった。</p>	<p>④松本入町有林（竹林）については、付近に居住している住民の同意を得ることは難しいことから、他地区の整備を検討していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係課及びシルバー人材センターとの適切な連携を図り事業をすすめていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係課及びシルバー人材センターとの適切な連携を密に図り、町有林整備事業をすすめていくことでシルバー人材の就労支援にも繋げていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.8	現状値	0.73 (1月～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(4/2、3、10、11)	
	5月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(5/15、16、30)	
	6月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(6/4、8、25、26、27、29) 6/15シルバー人材センター総会	
	7月			①施設整備に向けた進捗状況について、近隣市町から情報収集した。	
	8月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		①施設整備に向けた進捗状況について、近隣市町から情報収集した。	
	9月			①施設整備に向けた進捗状況について、近隣市町から情報収集した。 ④シルバー人材センター自主事業について随時打ち合わせ	
	10月			①施設整備に関して、県高齢対策課へ電話にて相談・問い合わせた上で、今後の方向性について検討した。 ④10/3 シルバー人材センター理事会	
	11月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(11/7、12、13、14、22、26、27、29)	
	12月			①施設整備に向けた進捗状況について、近隣市町から情報収集した。 ④12/18 シルバー人材センター理事会	
	1月			④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(1/23、24、25)	
	2月	①社会福祉法人の誘致検討 ④シルバー人材センターの請負業務拡大		④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(2/4、6、8、12、14、15、18、21、25、27)	
	3月			①施設整備に向けた進捗状況について、近隣市町から情報収集した。 ④シルバー人材センターヘウッドチップperを貸与(3/5、6、13) ④3/25 シルバー人材センター理事会	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①入所待機者数の推移や近隣市町の整備状況等を考慮し、今後の方向性を検討していく。</p>	<p>①近隣市町における施設整備の進捗状況等について、引き続き情報収集に努め、本町の施設整備方針を再考する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①入所待機者数の推移や近隣市町の整備状況等を考慮し、今後の方向性を検討していく。</p>	<p>①近隣市町における施設整備の進捗状況等について、引き続き情報収集に努め、本町の施設整備方針を再考する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①入所待機者数の推移や近隣市町の整備状況等を考慮し、今後の方向性を検討していく。</p>	<p>①近隣市町における施設整備の進捗状況等について、引き続き情報収集に努め、本町の施設整備方針を再考する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①入所待機者数の推移や近隣市町の整備状況等を考慮し、今後の方向性を検討していく。</p>	<p>①近隣市町における施設整備の進捗状況等について、引き続き情報収集に努め、本町の施設整備方針を再考する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・2委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	①施設入所を希望する入所待機者数等の把握に努めるとともに、近隣市町における施設整備の進捗状況等について、引き続き情報収集に努め、本町の施設整備方針を再考する。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①施設入所を希望する入所待機者数等の推移や近隣市町の施設整備の進捗状況を把握し、本町における施設整備方針を再検討していきたい。 ②シルバー人材センター推進事業補助金等により、今後も高齢者の就労の支援をしていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 今後も高齢者の就労支援を継続実施していただきたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	スモールビジネスの推進と起業支援による産業づくり		
施策	就労支援と雇用創出	進捗状況	100%		
KPI	有効求人倍率	本年度目標値	0.8	現状値	0.73 (1月～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①町HPで周知 ②セミナーの委託業者をプロポーザルで決定、6月実施パソコンワードの募集開始 (自治会全戸配布)	
	5月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②セミナー7月実施パソコンエクセルの募集開始 (自治会全戸配布)	
	6月			②6/20, 21パソコンワードのセミナーを実施 (延べ参加者: 41名)、合同就職面接会打合せを実施 (6/25)、8月実施セミナーの募集開始 (自治会全戸配布)、合同就職面接会を3町で実施することに決定。	
	7月			①星の宮工業団地に企業が移転してくることになり顔合わせの実施 (7/30) ②7/18, 19パソコンエクセルのセミナーを実施 (延べ参加者: 40名)、合同就職面接会打合せを実施 (7/31)、9月実施セミナーの募集開始 (自治会全戸配布)、英会話セミナーの打合せ実施 (商工会7/20)	
	8月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②8/2, 8/9, 8/30求職者・起業者向けセミナーの実施 (延べ参加者: 27名)、合同就職面接会打合せ (8/21, 8/24)、10月実施セミナーのチラシ配布 (全戸配布) ③3町合同就職面接会打合せの実施 (2回)	
	9月			①伊藤商会来庁し工場稼働に向けた打合せ (9/4) ②9/5, 9/12求職者・起業者向けセミナーの実施 (延べ参加者: 14名)、9/6, 9/13商工会との合同英会話セミナーの実施 (延べ参加者: 22名) 11月実施セミナーのチラシの配布 (全戸配布) ③3町合同就職面接会打合せの実施 (1回)	
	10月			①伊藤商会工場稼働に向けた打合せ (10/2, 10/10) ②10/5, 10/19, 10/26 求職者・起業者向けセミナーの実施 (延べ参加者: 34名) ③3町合同就職面接会打合せの実施 (1回)	
	11月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		①伊藤商会工場稼働に向けた打合せ (11/6, 11/12) ②11/1, 11/15求職者・起業者向けセミナーの実施 (延べ参加者: 19名) ③合同就職面接会企業向け募集チラシの配布 (11/13) ④合同就職会の周知で企業に伺った際に、雇用支援奨励金制度のPRも実施	
	12月			②1月実施のパソコン講座のチラシを配布 ②合同就職面接会参加企業の報告 (ハローワークへ: 10社 12/17) ②合同就職面接会のHP掲載済 (12/27)	
	1月			②合同就職面接会のチラシを新聞折込で周知。ポスターを作製し掲示PR ②パソコン講座 (ワード・エクセル) の実施 (1/22, 23, 29, 30延べ参加者 76人)	
	2月	①町HPにおいて企業誘致制度のPR ②求職者を対象としたセミナー・合同就職面接会の検討 ③求職者向けセミナーの実施 ④雇用支援奨励金制度についてのPR		②合同就職面接会の開催 (2/13 参加者46人)	
	3月			②合同就職面接会今年度の反省と次年度に向けての検討会 (3/27)	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②パソコンワードのセミナーを実施。昨年度は参加要望が多く定員を超えてしまったことを踏まえて、今年度は定員を増やして実施した。ちょうどよい定員となり実施することができた。</p>	<p>②合同面接会に向けて3町での打合せをし連携を図り、PR活動を継続していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①星の宮工業団地造成から年月が経過し、確約事項等が不明確になりつつあるので、造成当時の書類等を整理し明確にすることが必要。 ②セミナーを開催しても定員に達することができないものもあったため、興味を持てる内容について把握するよう努力する。 ③3町合同就職面接会の開催日を決定することができた。</p>	<p>①書類等を再度、整理、理解して、移転してくる工場がスムーズに稼働できるように協力する。 ②引き続きPRに努めるとともに、受講者の要望を把握する。 ③3町合同面接会に向けて3町との打合せを密にし連携を図る。</p>
	<p>②合同就職面接会の参加企業を決定することができた。</p>	<p>②合同面接会に向けて3町での打合せをし連携を図る。 ②面接会へ多くの求職者に参加してもらえるようにPRに努めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③3町合同就職面接会の参加者は、47名で70件の面接件数があり、20名が就職することができた。益子町在住者は5名が益子町企業で採用となった。益子町参加企業では、12名(内町外者7名)を採用していた。②次年度に向けた検討会において、来年度は茂木町を含めた4町で開催することとなった。</p>	<p>④4町合同就職面接会のスムーズな開催に向けて、各町との連携を図る。5月末までに幹事町を決定し役割分担等を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 今後も様々なセミナーや面接会を実施し、就労支援を実施願いたい。 スモールビジネスの推進と起業支援だけでは、個人事業者は増えるかもしれないが、求人倍率を増加させることにはつながりにくいと思われる。埴地区の工業団地を広げたり、ペンタックス跡地に入りそうな事業所を積極的に誘致してはどうか。	求職者・起業者向けセミナーを引き続き開催し、就労につながるよう努めていく。 企業誘致については、誘致する場所が今の所ないため、今後の検討課題と思われる。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化		
施策	観光客誘客の拡大	進捗状況	100%		
KPI	観光客入込数	本年度目標値	230万人	現状値	257.9万人 (H29)
KPI	観光客宿泊者数	本年度目標値	26,000人	現状値	47,110人 (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		④旧南間ホテル第3期改修工事関係打合せ。4/16。 ⑤DC「駅からいちご狩り」実施。4/8。入込200名。 ⑥土祭田野地区会議、4/24。益子地区会議、4/20。七井地区会議、4/19。アート会議、4/26。 ⑦土祭実行委員会会議、4/25。		
	5月	①観光戦略会議の設置に向けた組織づくりの検討。 ②ラーニングパッケージの検討・情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④旧南間ホテル運営事業者の募集要項作成。 第3期改修工事設計。外構工事設計。ギャラリーディスプレイ業務内容検討。	①観光戦略アドバイザー山田桂一郎氏と益子町観光戦略について打合せ。(東京)5/28。 ②「益子小麦物語」開催内容について打合せ。5/7。 ③「里山ガールズ」視察研修・開催内容について打合せ。5/15 5/22。 ④「里山ガールズ」茨城県城里町へ視察研修。(狩りガール事業)。5/22。参加者8名。 ⑤旧南間ホテル第3期改修工事関係打合せ。5/9。現場説明(町長・副町長)。 ⑥DC「DL&Sもおか」協力。5/12。参加106名。 ⑦土祭田野地区会議、5/28。益子地区会議、5/7・5/14。地区委員とアート委員顔合わせ、6/30。		
	6月	⑥土祭2018の開催に向け、各地区での企画・立案。アート展示会場選定作業。DC事業の実施。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。	①観光戦略アドバイザー山田桂一郎講演会の実施。6/20。参加者40名。 ②「益子小麦物語」第1回開催6/24。参加者13名。 ③「益子の水藍物語」開催内容について打合せ。6/1。 ④「益子の水藍物語」第1回開催6/24。参加者15名。 ⑤旧南間ホテル第3期改修工事関係打合せ。6/12。 ⑥DC「ましこカフェ」開催。6/10。入込3,000名。 ⑦DC「DL&Sもおか」協力。6/16。入込126名。 ⑧土祭益子地区会議、6/7・6/21。七井地区会議、6/25。アート会議、6/6。		
	7月	①観光戦略会議の委員選出。第1回観光戦略会議開催予定。 ②ラーニングパッケージの検討・情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④旧南間ホテル運営事業者の公募開始。	②「益子の水藍物語」第2回開催 7/29。参加者17名。 ③旧南間ホテル運営事業者公募開始。7/2。〆切8/24 ④旧南間ホテル名称公募開始。7/23。〆切8/31 応募総数105点。 ⑤旧南間ホテル取材対応 7/19日経新聞。7/30テレビ東京。 ⑥カフェマップ増刷10,000部。 ⑦夜マップ制作10,000部。 ⑧土祭実行委員会会議。7/3。随時各地区委員会開催。		
	8月	第3期改修工事設計。工事発注。外構工事設計。ギャラリーディスプレイ業務内容検討。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥土祭2018の準備・開催。アフターDC事業の検討。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。	①観光戦略講演会参加者への意見の聞き取り ①気仙沼DMO視察14名。8/28~29 山田桂一郎氏・気仙沼DMOとの交流会。 ②「ましこドレッシングの会」第1回。開催 8/4。参加者7名 ③旧南間ホテル運営者一次審査。8/31。受審者2組。 ④土祭実行委員会会議。8/27。随時各地区委員会開催。		
	9月		①気仙沼DMO視察研修参加者への意見の聞き取り。アンケート調査。 ②「益子の水藍物語」第3回開催9/15。参加者7名。 ③旧南間ホテル取材対応 9/14とちぎテレビ。 ④土祭安全祈願祭9/10。土祭開催9/15~9/30		
	10月	①第2回観光戦略会議開催予定。 ②ラーニングパッケージの情報発信・事業実施。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④旧南間ホテル運営事業者との契約。開業に向けた準備。 第3期改修工事設計。工事発注。外構工事設計。ギャラリーディスプレイ業務内容。運営体制の決定。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥後・土祭の開催。土祭2018の検証。アフターDC事業の検討。 ⑦益子大使の委嘱(法務人)及び観光PR活動への支援。	②「ましこドレッシングの会」第2回開催予定10/20。中止 ③「里山ガールズ」第1回開催予定10/13。中止 ④旧南間ホテル運営事業者第二次プロポーザル。10/9。 ⑤旧南間ホテル第3期工事一般競争入札により請負業者の決定。10/15。 ⑥旧南間ホテル視察研修。町民大学生20名。10/27。 ⑦後土祭。オカリナプロジェクト等の開催。10/7 ⑧栃木県観光情報説明会(東京。日本橋)への参加。10/18。 ⑨DC「観光物産展」にて観光PR。10/29。JR大宮駅。 ⑩益子大使 宗次郎「土祭村祭り」協力。土祭終演を演出。10/7。 ⑪益子宣伝部長 井上咲楽 NHKラジオ「旅ラジ」出演。益子町PRに努めた。会場：道の駅ましこ。 10/3。 ⑫益子宣伝部長 西谷優希 委嘱状交付式。会場：道の駅ましこ2周年記念イベント。10/14。		
	11月		①観光戦略(ポイントシステム説明会)11/9。東芝テック。 ②観光戦略(ポイントシステム説明会)11/29。サイモンズ。 ③「ラメーター調査実施。11/3(城内坂・道の駅)11/17(城内坂・よこやま)サンプル655回収。 ④「里山ガールズ」第1回開催11/10。参加者11名。 ⑤「益子小麦物語」第2回開催11/11。参加者9名。 ⑥旧南間ホテル視察研修。七井中生徒5名。11/13。 ⑦旧南間ホテル(有形文化財登録現地調査)文化庁検査官。11/26。 ⑧益子大使 川口、仁村 益子町観光大会にてPR活動。11/11。		
	12月		①観光戦略アドバイザー山田桂一郎来庁。「観光戦略について」「ポイントシステムによるマーケティングについて」意見交換。12/7。町長、副町長、部長、課長、係。 ②観光戦略(ポイントシステム説明会)12/17。日本カード。 ③旧南間ホテル(運営者)内覧1社。12/5。 ④旧南間ホテル(運営者募集・アワード「アワード」)プレスリリース。栃木県東事務所記者発表会場にてPR。 ⑤旧南間ホテル(名称決定「ましこ悠和館」)12/27。発表は1月。 ⑥益子大使田原弘徳(剣道)委嘱状交付。12/1。剣道道教室にて。 ⑦益子大使・宣伝部長へ、益子町PR事業として荷を送付。12/13。		
	1月	①第3回観光戦略会議開催予定。 ②ラーニングパッケージの情報発信・事業実施・事業報告会。 ③レンタサイクル事業について連携等の検討。 ④旧南間ホテル運営事業者と開業に向けた準備。 第3期改修工事設計。工事発注。外構工事発注。ギャラリーディスプレイ設置に向けた準備。 ⑤各種パンフレットなどを統合した情報誌の検討。 ⑥次回の土祭開催に向け、スケジュールや内容等についての検討。 アフターDC事業の検討、準備。 ⑦益子大使による観光PR活動への支援。	①パラメーター調査打合せ。2018調査結果・2019調査内容について検討。1/21.31 ②「ましこドレッシングの会」第3回開催1/26。参加者10名。 ③旧南間ホテル(工事・運営者・取材)打合せ。1/16.21.22.24 ④アフターDC事業 道の駅打合せ。(カフェフェス・マップホルダー他)1/18.31 ⑤おもてなし委員会。(アフターDC事業概要検討)1/21		
	2月		①観光戦略アドバイザー山田桂一郎打合せ。2/20 マーケティングシステムについて協議 ①観光戦略(ポイントシステム)福島県下郷町視察。2/5 商工会・やまゆりの会・町8名 ②観光戦略(ポイントシステム)内部協議。2/7.15.19 ③「益子の水藍物語」第4回開催2/10。参加者12名。④「益子小麦物語」第3回開催2/11。参加者12名。 ⑤「里山ガールズ」第2回開催2/23。参加者9名。 ⑥旧南間ホテル(運営者決定:(株)サンアムニティ)1次2組審査2/6 2次2組審査2/21 ⑦旧南間ホテル打合せ(土地)2/15.25 (工事)2/13.25 ⑧DC打合せ(美術館めぐり)2/6 (夜のおもてなし)2/13 ⑨おもてなし委員会(アフターDC事業概要検討)2/18 ⑩JR大宮駅直市の実施(DC県東分科会)2/14 アフターDCキャラバン隊への参加(水戸駅)2/19		
	3月		①観光戦略マーケティング打合せ(東京)水野氏 3/8 ②観光戦略アドバイザー山田桂一郎打合せ。3/29 ③「ましこドレッシングの会」第4回開催3/23。参加者13名。 ④ラーニングパッケージ報告会 3/26 4事業団体からの事業報告 ⑤旧南間ホテル(土地)境界立会。3/5.19 ⑥旧南間ホテル改修工事完了3/28(現地確認)監査委員3/20 議員3/27 ⑦土祭実行委員会開催。3/27 総括報告 10名参加 ⑧旅行商品造成委員会3/1 おもてなし委員会3/18(アフターDC事業概要検討)⑨栃木県DC実行委員会総会 3/20 ⑩益子町DC実行委員会総会(2018決算報告・2019事業計画)3/15 ⑪アフターDC事業「駅からいちご狩り」いちごの駅北山キックオフセレモニー開催 3/31 入込200人		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①観光戦略会議の開催に向け、関係者・関係団体への意識の方向づけがなされた。</p> <p>②ラーニングパッケージ2事業について、予定通りの進捗。主催団体と連絡調整をし、メディアへの情報発信・参加者の申込み管理等滞りなくできている。今後も主催団体と連携を密に意思疎通図れるよう努める。</p> <p>④旧南間ホテル運営事業者の募集内容の検討。第3期改修工事工事に向けて設計調整ができた。</p> <p>⑥DC事業実施にあたり、おもてなし委員の協力のもと進めることができた。</p> <p>⑥各地域ごとにプロジェクトの開催日程と内容の調整ができた。</p>	<p>①観光戦略を進めるにあたり、観光戦略会議の委員選出。調査・研究に努める。</p> <p>②現在申請予定の2事業について協議中、適切な時期での受付・情報発信に努める。</p> <p>③レンタサイクル事業については、道の駅ましこが主となり運営している。連携できるものについては協力していきたい。</p> <p>④第3期改修工事発注に向け、工事設計と意匠設計との調整を図り進める。</p> <p>⑥今年度事業を検証し、アフターDCの事業計画の検討を進める。</p> <p>⑥地域プロジェクトとアート運営との調整が必要。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①気仙沼DMOの組織形態とその仕組みづくりについて研修し、益子町の観光戦略の形態を考える上での参考になった。</p> <p>②ラーニングパッケージ2事業について、予定通りの進捗。主催団体と連絡調整をし、メディアへの情報発信・参加者の申込み管理等滞りなくできている。今後も主催団体と連携を密に意思疎通図れるよう努める。</p> <p>④旧南間ホテル運営事業者募集について、2組の申込みがあり、一次選考審査会を滞りなく実施した。</p> <p>⑥土祭の開催ができた。雨天により中止、延期のプロジェクトが発生し周知に苦慮した。</p> <p>⑥アフターDC事業内容検討。2019観光素材について検討を進めることができた。</p>	<p>①観光戦略会議の組織づくりを進め、益子町の求める組織形態を検討していく。</p> <p>②現在申請予定の1事業について協議中、適切な時期での受付・情報発信に努める。</p> <p>④旧南間ホテル運営事業者二次選考試験に向け、受審者と審査員それぞれとの調整をスムーズに進める。</p> <p>⑥10/7に延期となったオカリナプロジェクト及び夕焼けバーの開催に向け準備を進める。</p> <p>⑥アフターDC事業（観光素材）について検証し、誘客に効果的なプランの検討が必要。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①観光戦略のひとつとしてポイントシステム導入によるマーケティング事業を検討し、導入費・運営費等の比較検討を行うことができた。</p> <p>②ラーニングパッケージ4事業について実施。メディアやリピーターへのPR不足を反省する。</p> <p>④旧南間ホテル運営事業者の選考審査の結果、該当者なしとなり、再募集を進めている。工事関係については、関係機関との細かな打合せにより、行程どおりに進捗している。</p> <p>⑥後土祭、延期となったオカリナプロジェクト及び夕焼けバーを多勢の方にご来場いただき滞りなく開催することができ、無事全体を終了することができた。</p> <p>⑦益子大使更新1名・益子宣伝部長新規1名の委嘱状交付を行うことができた。町内イベントへの大使・宣伝部長の参加も充実していた。</p>	<p>①ポイントシステムの選定に向け、町内関係団体からの意見もいただきながら、さらに研究・検討を進める。</p> <p>②主催団体と連絡調整をし、メディアやリピーターへの情報発信に努める。</p> <p>④旧南間ホテル運営事業者を広く募るため、引き続き募集PRに努める。工事の滞りない進捗に努める。2019年の開館式典に向けての準備を始める。</p> <p>⑥土祭・後土祭の開催に対し、総括報告書の取り纏め、実行委員会の開催を進める。</p> <p>⑦益子大使・益子宣伝部長においては、更なる益子町PRに向け、事業提案を検討する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①観光戦略会議の構成員や、事業内容について打合せを重ねることができた。マーケティングの核となるポイントシステムについても、本部システムの導入が決定した。データの集積について検討していく必要がある。</p> <p>②ラーニングパッケージ4事業について、それぞれ主体的に事業計画を立て実施出来ている。今後の自立性に繋げていきたい。参加の申込状況については、事業によって苦労している団体があり、さらなる誘客PRが必要と考える。</p> <p>④旧南間ホテル改修工事他について完了。運営者についても決定した。寄贈される土地の手続きについて（株）つかもとと進める。</p> <p>⑥アフターDC事業について、魅力ある事業の実施に向けて、関係団体と協力し進める。</p>	<p>①観光戦略会議の構成員・協議内容・事業目的を明確にし、年間スケジュールを立てて進めていく。</p> <p>②益子ラーニングパッケージ事業として、4事業連携したPRを進める。（情報を集約したポスター・チラシを制作し、一体的にPRする）</p> <p>④旧南間ホテルの開館に向け、式典の準備・運営者との協議を進める。</p> <p>⑥アフターDC事業（観光素材）について、誘客に効果的なプロモーションが必要と考える。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	パラメーター調査による正確な消費動向を把握し、町内消費の仕組みづくりを検討してまいりたい。
	第2四半期	②意見・提言 観光客入込数は目標をクリアしているが、町内での消費には結びついていないところからも町内での消費に結びつく対応を検討されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	事業の連携により観光素材の相乗的効果を図ってまいりたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ラーニングパッケージ、レンタサイクル、ましこ悠和館等のPRを効果的に行うことで、益子の魅力を発信し、観光客増加を図っていただきたい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	風土に根ざした産業をつくる	政策	観光の基幹産業化		
施策	外国人観光客（インバウンド）の誘客	進捗状況	100%		
KPI	外国人観光客宿泊者数	本年度目標値	500人	現状値	960人（H29）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会（生涯学習課）事業にて、文化財をめぐるための多言語表記看板の設置が進められる。そのための外国人モニターツアーを実施。実施予定：秋	
	5月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④免税店化・クレジットカード取扱店化への推進		①栃木県国際観光推進協議会総会へ出席。5/15。	
	6月				
	7月				
	8月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化への推進			
	9月			③「英会話講座」開催（9/6 12人、9/13 10人） ④国道121号線沿線友好事業。山形県米沢市「なせばなる秋まつり」へ益子焼の出店。9/21. 22.	
	10月			①栃木県国際観光推進協議会総会へ出席。10/11。	
	11月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化への推進		④国道121号線沿線友好事業。山形県米沢市より「益子町民まつり」へ出店。11/17。	
	12月			③歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会（事務局：生涯学習課）文化財をめぐるための多言語表記看板の整備計画の基礎調査・情報収集のための外国人モニターツアーを実施。益子・大羽地区。 第1回実施12/8～9。参加者7名 第2回実施12/15～16。参加者8名	
	1月			③歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会（事務局：生涯学習課）文化庁でのヒアリング出席。事業内容について説明する。 1/9	
	2月	①栃木県国際観光推進協議会との連携強化 ②Wi-Fi環境の要望把握 ③多言語に対応した案内看板・パンフレットの整備 ④国道121号線などを使った他地域との連携による観光ルートの造成 ⑤免税店化・クレジットカード取扱店化への推進		⑤キャッシュレス化を推奨している業者を商工会へ紹介（2/15）	
	3月			①国際観光推進協議会出席 3/20 ③歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会（事務局：生涯学習課）2019年度実施計画提出。3/27 文化財をめぐるための多言語表記看板の整備計画の基礎調査・情報収集のための外国人モニターツアーを実施。田野地区での実施予定。	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①海外誘客事業に関する情報の共有に努める必要がある。 ②H27栃木県事業で整備済 ③事業主旨を理解し、適切なモニターの実施を進める必要がある。</p>	<p>①情報の共有に努め、連携出来る事業との調整を進める。 ③歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会にて、どのような多言語表記案内板が必要かを検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①海外誘客事業に関する情報の共有に努める必要がある。 ④「なせばなる秋まつり」出店により、国道121号沿線自治体との交流・情報交換を行うことができた。</p>	<p>①情報の共有に努め、連携出来る事業との調整を進める。 ④国道121号沿線観光ルートづくりについては、今後も検討が必要。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①海外誘客事業に関する情報の共有に努める必要がある。 ③モニターツアーについては参加者の国籍・性別を偏らないよう募集し、目的に添って実施することができた。 ④米沢市の「益子町民まつり」出店により、国道121号沿線自治体との交流・情報交換等を行うことができた。</p>	<p>①情報の共有に努め、連携出来る事業との調整を進める。 ③モニターツアーで得た参加者の意見、統計資料を参考に、次年度の看板整備に活かしていく。 ④国道121号沿線観光ルートづくりについては、今後も検討が必要。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③外国人モニターツアーの実施完了。2019年度の事業内容について検討する。</p>	<p>③モニターツアーで得た参加者の意見、統計資料を参考に、次年度の看板整備に活かしていく。 ⑤消費税増税に伴うキャッシュレス決済のポイント還元により、さまざまな支払い方法ができてきているので、商工会と共催で勉強会が開催できるよう検討していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	外国人誘客に繋がるよう事業推進を図っていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 外国語やキャッシュレス決済への対応など、インバウンドを誘客する地盤を整備し、増加を図っていただきたい。	外国人誘客に繋がるよう事業推進を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）		